

平成 21 年度事業概況

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

1. 定時会員総会に関する事項

平成 21 年 5 月 22 日、アクチュアリー会大会議室にて会員総会を開催し、

- 第 1 号 平成 20 年度事業概況に関する件
- 第 2 号 平成 21 年度事業計画（案）承認の件
- 第 3 号 平成 20 年度決算承認の件
- 第 4 号 平成 21 年度予算（案）承認の件
- 第 5 号 会費分担に関する件
- 第 6 号 役員選任に関する件

を諮り、原案どおり承認された。

2. 会員の異動状況

本年度の会員の異動は、賛助会員については入会 3 法人、退会 4 法人、個人会員については入会 304 名、退会 137 名（うち死亡 6 名）があり、平成 22 年 3 月末の会員数は、下表のとおりとなった。

入会賛助会員

株式会社 リソース・ネット
JP アクチュアリーコンサルティング株式会社
ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社 以上 3 法人

退会賛助会員

エーオン アフィニティー ジャパン株式会社
アクサ・フィナンシャル生命保険株式会社
株式会社 インズ・ビジョン
日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社 以上 4 法人

名 誉 会 員	5 名
正 会 員	1,257
準 会 員	968
研 究 会 員	1,998
小 計	4,228
賛 助 会 員	118
合 計	4,346

3. 事業概況

〔試験関係〕

(1) 平成 21 年度資格試験の実施

平成 21 年 12 月 24 日、25 日、28 日の 3 日間、東京（早稲田大学西早稲田キャンパス）および大阪（天満研修センター）において実施し、平成 22 年 2 月 16 日に合格者を発表した。第一次試験の受験科目総数は 4,098、うち合格科目数は 659、第二次試験の受験科目総数は 815、うち合格科目数は 83、全科目合格者は 33 名であった。

(2) 教科書の改訂

「損保数理」、「生保 1 第 5 章 変額年金保険」および「損保」を改訂した。

〔教育・研修・研究発表関係〕

(1) 平成 21 年度アクチュアリー講座の実施

会員の教育制度として、東京においてアクチュアリー講座を実施した。平成 21 年 5 月 7 日から 11 月 26 日の期間、基礎講座 11 科目および特論講座 7 科目を実施し、受講者数は基礎講座 207 名、特論講座 35 名であった。

(2) 平成 21 年度アクチュアリー追加演習講座の実施

会員の教育制度として、東京において入社 2～3 年目以降の受験者向けのアクチュアリー追加演習講座を実施した。平成 21 年 9 月 2 日から 12 月 4 日の期間、生保数理演習、損保数理演習、年金数理演習およびモデリング演習の 4 科目を実施し、受講者数は生保数理演習 75 名、損保数理演習 92 名、年金数理演習 70 名、モデリング演習 46 名であった。

(3) 平成 21 年度年次大会・IT 研究大会の開催

年次大会は、平成 21 年 11 月 5 日、6 日の 2 日間、経団連会館および東京ステーションコンファレンスにおいて、IT 研究大会は、平成 21 年 11 月 26 日、27 日の 2 日間、大手町三井生命ビルにおいて開催した。

年次大会初日における特別講演は、「日本経済の進路」のテーマで東京大学大学院経済学研究科教授 伊藤 元重 氏により行われ、午後の部では「金融危機と ERM」のテーマで特別企画が行われた。

また、IT 研究大会の特別講演は「プロフェッショナルのための成長戦略—情報部門人材に贈る「仕事」実践の思想・戦略・戦術—」のテーマで株式会社 山本真司事務所 代表取締役 山本 真司 氏によって行われた。

継続教育の一環として、年次大会の発表等の模様を後日会員向けにホームページを通じて配信した。

(4) アクチュアリー海外研修の実施

会員の教育制度として、第 2 回アクチュアリー海外研修を実施した。生保、年金、損保のそれぞれを研修テーマとする 3 組に分かれて実施し、生保組および年金組は米国アクチュア

リー会 (Society of Actuaries; SOA) の年次大会参加を中心にボストン・ニューヨークにて平成 21 年 10 月 24 日～11 月 4 日 (年金組は 10 月 31 日まで) の期間で研修を行い、損保組は米国損保アクチュアリー会 (Casualty Actuarial Society; CAS) の年次大会参加を中心にボストン・ニューヨークにて平成 21 年 11 月 14 日～25 日の期間で研修を行った。参加者数は、生保組 18 名、年金組 7 名、損保組 7 名であった。

(5) 例会の開催

第 1 回例会 平成 21 年 6 月 29 日 (於: こまばエミナース)

「原則主義への準備-財務報告書およびソルベンシー基準 (IFRS フェーズ II とソルベンシー-II を中心に)」
A. David Pelletier 氏 (RGA)

「金融危機と会計基準の変更～保険商品に与える影響」

Gregory M. Goodfliesh 氏 (RGA)

第 2 回例会 平成 21 年 9 月 14 日 (於: こまばエミナース)

「ソルベンシーII 導入を見据えた保険会社のマーケットリスクに関わる A L M の方向性について」
飯沼 邦彦 君 (RBS 証券)

第 3 回例会 平成 21 年 10 月 22 日 (於: ベルサール西新宿)

「THE FINANCIAL CRISIS: AN ACTUARIAL PERSPECTIVE」

Paul Embrechts 氏 (ETH Zürich)

第 4 回例会 平成 22 年 1 月 8 日 (於: 日本アクチュアリー会大会議室)

「英国における ERM のアクチュアリー教育について」

Paul Sweeting 氏 (ケント大学)

第 5 回例会 平成 22 年 3 月 2 日 (於: こまばエミナース)

「ERM と経済資本」

Mike Lombardi 氏 (RGA)

第 6 回例会 平成 22 年 3 月 18 日 (於: こまばエミナース)

論文発表研究集会

「Economic Values of Contribution Cashflows for a Sponsoring Employer of a DB Pension Plan and Measures to Bring the Economic Costs under Control within an Affordable Range」
清水 信広 君 (農業者年金基金)

「Current Situation and Actuarial Issues of Long-Term Care Insurance in Japan」

富張 雅人 君 (三井住友海上)

パネルディスカッション「私の執筆経験」

岩沢 宏和 君 (個人)

海老崎 美由紀 君 (日本興亜生命)

福田 敬 君 (日本格付研究所)

山内 恒人 君 (SBI アクサ生命)

(6) セミナーの開催

正会員および準会員を対象に下記の 6 テーマについて相互研鑽を目的に 11 月よりムーンライトセミナーを実施した。

① 保険会社の経営管理について

土井 和行 君 (タワーズペリン)

② オペレーショナルリスクの内部モデルによる計量化と最新の動向について

石岡 秀之 氏 (あらた監査法人)

西原 立 君 (あらた監査法人)

- ③ 数理ファイナンス（確率金利モデル）について 関口 健太郎 君（キャピタルコンサルティング）
- ④ 損保における保険料率の算出について セミナー部会委員
- ⑤ 日本の超長期金利の動向と生保の資産運用 福永 顕人 君（クレディ・スイス証券）
- ⑥ MCEV の実務 中沢 文茂 君（ソニー生命）

(7) 実務研修会の実施

正会員を対象とした継続的な教育を提供する場として、専門的実務スキル向上に資する研修を行うことを目的に実務研修会を実施した。

第1回実務研修会 平成22年1月22日（於：損保会館）

「退職給付会計に関する国際化の動向について」 藤井 康行 君（住友信託）

第2回実務研修会 平成22年2月1日（於：こまばエミナース）

「地球温暖化の予測は『正しい』か」 江守 正多 氏（国立環境研究所）

第3回実務研修会 平成22年2月15日（於：損保会館）

「損害保険会社における『保険法』への対応」 吉澤 卓哉 氏（東京海上日動）

第4回実務研修会 平成22年2月22日（於：こまばエミナース）

「生命保険会社の保険計理人の関与事項に関する研究について」

舘 誠一 君（日本生命）

(8) プロフェッショナルリズム研修の実施

平成22年2月23日、損保会館において、正会員（今年度の資格試験で全科目に合格した準会員を含む）および準会員（今年度の資格試験で基礎科目すべてに合格した者を含む）を対象に下記の研修内容で実施した。今年度の受講修了者は正会員13名、準会員59名であった。

IAA シラバスとプロフェッショナルリズム	村田 富生 君（三井生命）
アクチュアリーと行動規範について	長澤 亮之 君（住友信託）
生保のプロフェッショナルリズム	中村 亮一 君（日本生命）
損保のプロフェッショナルリズム	木村 和弘 君（日本興亜損害）
年金のプロフェッショナルリズム	杉田 健 君（中央三井アセット信託）
	藤井 康行 君（住友信託）

(9) 研究会活動

現在以下の11の研究会で活発な研究を行っている。各研究会の活動状況等について、当会ホームページに掲載するとともに、研究成果としてまとめたものについては、会報別冊等を通じて公表した。

外国文献研究会	生保計理に関する基本問題研究会
ASTIN 関連研究会	巨大リスク研究会
年金基礎研究会	年金理論研究会
医療保険研究会	社会保障問題研究会
ALM 研究会	AFIR 関連研究会
デリバティブ研究会	

〔委員会・部会活動〕

(1) 実務基準の整備・充実

「損害保険会社の保険計理人の実務基準」については、事業継続に関する確認（保険業法第121条第1項第3号の規定に基づき行う保険業法施行規則第79条の2第2号に掲げる事項の確認）に係る規定を新設するため、平成22年1月に所要の改定を行った。

(2) 標準死亡率諮問委員会の開催

平成21年11月9日に開催された第15回標準死亡率諮問委員会において、「生保標準生命表2007（死亡保険用）」、「生保標準生命表2007（年金開始後用）」、および「第三分野標準生命表2007」について、平成22年度は継続適用することが了承された。

(3) 国際会計基準・保険監督の国際基準への対応

国際会計基準および保険監督の国際基準についてはそれぞれIASB（国際会計基準審議会）ならびにIAIS（保険監督者国際機構）において精力的な検討がなされ、それぞれの機関会員であるIAA（国際アクチュアリー会）では、アクチュアリー専門職団体として保険契約の国際会計基準（IFRS4）に対応する国際アクチュアリー実務基準の作成やIAISの委託研究を行う等の活動を行っている。IAA正会員メンバーである当会においても、生保委員会、損保委員会の関連の部会にて検討を進めるとともに、IAAの委員会活動に積極的に参画している。また、企画委員会の傘下に国際基準対策PTを設置し、関係部会を含めた進捗管理や、生保・損保間の調整および対外的な窓口の一本化を図っている。

(4) 実務ガイドの作成

生命保険会社の保険計理人の関与事項の内容について、一般的な生命保険会社において現在考えられる範囲や基本的な考え方を整理し、一定の客観性を持たせるとともに、保険計理人の実務の支えとなることを目的として「生命保険会社の保険計理人の実務ガイド」の作成に着手し、「総則」および「責任準備金」についてとりまとめた。

(5) 情報提供機能の充実

- イ. 各委員会・部会の活動状況等について当会のホームページに情報を掲載した。
- ロ. 諸外国のアクチュアリー会の刊行物に掲載されている記事の一部について、その概要の紹介を当会のホームページにおいて行った。
- ハ. ホームページ拡充のための検討を行うHPリニューアル部会を広報委員会傘下に設置した。

(6) ERMに関する国際資格創設への参画

平成21年11月、「グローバルなERM資格認定に関する協定書」に署名し、12カ国14のアクチュアリー会で統一された基準でERM資格「CERA」を相互に認定することとなった。

〔意見表明〕

- (1) 以下の案件について、IAA の電子投票を行った。
 - イ. 平成 21 年 7 月、IAA のガバナンス変更等に関して、賛成として投票を行った。
 - ロ. 平成 21 年 12 月、IAA の新エグゼクティブ委員会の委員に関して、賛成として投票を行った。
 - ハ. 平成 22 年 1 月、IAA の国際教育委員会および同運営委員会の廃止に関して、賛成として投票を行った。
 - ニ. 平成 22 年 1 月、IAA の中国小委員会の委員長等選任に関して、賛成として投票を行った。
 - ホ. 平成 22 年 1 月、IAA のリスク・クライシスに関するアドバイザー・タスクフォースの廃止に関して、賛成として投票を行った。
 - ヘ. 平成 22 年 1 月、IAA の内規の改定に関して、賛成として投票を行った。
 - ト. 平成 22 年 1 月、IAA の投票権の変更に関して、賛成として投票を行った。
- (2) 平成 21 年 9 月、金融庁に対し、「ソルベンシー・マージン比率の見直しの改定骨子（案）」に対する意見を提出した。
- (3) 平成 22 年 2 月、金融庁に対し、「ソルベンシー・マージン比率の短期的な見直しに係る『保険業法施行規則の一部を改正する内閣府令案等の公表について』」に対する意見を提出した。

〔国際関係〕

(1) 第 38 回東アジア・アクチュアリー講座（ASEA）の実施

平成 21 年 7 月 27 日から 8 月 7 日までの 12 日間にわたり、東アジアを中心とする 8 地域から 17 名の参加を得て、保険数理に関する特定のテーマについての講座を実施した。

(2) IAA 活動

本年度はタリン会議（平成 21 年 5 月 27 日～30 日）、ハイデラバード会議（平成 21 年 11 月 12 日～15 日）、およびケープタウン会議（平成 22 年 3 月 3 日～7 日）に委員を派遣した。

平成 21 年度末現在の当会の IAA 委員会等の委員は以下のとおりである。また、平成 22 年 1 月より日笠 克巳 君（三井生命）が IAA Nominations Committee 委員長に、河野 年洋 君（ソニー・エクス生命）が IAA Insurance Regulation Committee 委員長に就任した。

Immediate Past President	日笠 克巳 君
Accreditation Committee	五十嵐 勉 君
Advice and Assistance Committee	辻 芳彦 君
China Subcommittee	辻 芳彦 君
Audit and Finance Committee	日笠 克巳 君
Education Committee	村田 富生 君
Enterprise Financial Risk Committee	吉村 雅明 君
Executive Committee	日笠 克巳 君

Strategic Planning (Task Force)	日笠 克巳 君 村田 富生 君
Insurance Accounting Committee	中村 吉男 君 田口 茂 君
Subcommittee on Actuarial Standards	中村 吉男 君 田口 茂 君
Insurance Regulation Committee	河野 年洋 君 穴田 祐史 君
Reinsurance Subcommittee	河野 年洋 君
Solvency Subcommittee	河野 年洋 君
Mortality Working Group	西村 泰介 君
Nominations Committee	日笠 克巳 君
Professionalism Committee	吉村 雅明 君
Convergence of Actuarial Standards (Task Force)	吉村 雅明 君
Social Security Committee	水上 孝 君
ASTIN Section	森本 祐司 君
IAA Health Section	坂本 純一 君
IAA Life Section	辻 芳彦 君
IACA Section	吉田 英幸 君

(3) IAA 迅速処理適用案件

以下の案件について、IAA の迅速処理手続きが適用されたが、当会から反対等の意見は表明しなかった。

- イ. 平成 21 年 4 月、IASB 討議書「財務諸表の表示についての予備的見解」に対する IAA 意見
- ロ. 平成 21 年 4 月、IASB 「FASB 公正価値測定に関する修正案」「FASB 有期債券投資および株式の減損要件に対する修正案」に対する IAA 意見
- ハ. 平成 21 年 4 月、IAIS および OECD (経済開発協力機構) 「コーポレートガバナンスに関する論点書」に対する IAA 意見
- ニ. 平成 21 年 4 月、IOPS (国際年金監督官協会) 「監督上の介入、強制および制裁についての指針案」に対する IAA 意見
- ホ. 平成 21 年 5 月、IAIS 「ソルベンシー目的の資本資源の構造に関する基準・指針」に対する IAA 意見
- ヘ. 平成 21 年 5 月、IAIS 「財務報告の作成および監査におけるアクチュアリーと外部監査の役割と関係に関する論点書」に対する IAA 意見
- ト. 平成 21 年 6 月、IASB 討議書「顧客との契約における収益認識についての予備的見解」に対する IAA 意見
- チ. 平成 21 年 7 月、IASB 「所得税に関する公開草案」に対する IAA 意見
- リ. 平成 21 年 8 月、IASB 「負債評価における信用リスクに関する討議書 (および関連するスタッフペーパー)」「金融商品に関する情報の要請：金融資産の悪化」に対する IAA 意見
- ヌ. 平成 21 年 9 月、英国 BAS (Board for Actuarial Standards) 「年金：コンサルテーシ

ョンペーパー」に対する IAA 意見

- ル. 平成 21 年 9 月、IASB「金融商品に関する公開草案：分類と測定」に対する IAA 意見
- ヲ. 平成 21 年 9 月、IASB「公正価値測定に関する公開草案」に対する IAA 意見
- ワ. 平成 21 年 9 月、IASB「従業員給付の割引率に関する公開草案－IAS19 の修正の提案」に対する IAA 意見
- カ. 平成 21 年 11 月、IASCF（国際会計基準委員会財団）「定款の見直し：公的説明責任の向上」に対する IAA 意見
- ヨ. 平成 22 年 1 月、IAASB（国際監査・保証基準審議会）「複雑な金融商品の監査趣意書」に対する IAA 意見
- タ. 平成 22 年 1 月、FEE（欧州会計士連合）「職業倫理に関する規範討議書」に対する IAA 意見
- レ. 平成 22 年 2 月、IASB「経営者のコメントに関する公開草案」に対する IAA 意見

(4) 国際交流関係

来日した各国アクチュアリーと交流を図ったほか、次のとおり会議等に会員を派遣した（前述の会議についても再掲）。

- イ. 平成 21 年 5 月 27 日～30 日 IAA 会議（於：エストニア タリン）
吉田 英幸 君、坂本 純一 君、河野 年洋 君、村田 富生 君
日笠 克巳 君（IAA 代表として出席）
- ロ. 平成 21 年 6 月 1 日～4 日 ASTIN 大会（於：フィンランド ヘルシンキ）
森本 祐司 君
日笠 克巳 君（IAA 代表として出席）
- ハ. 平成 21 年 9 月 6 日～9 日 IAA ライフセクション大会（於：ドイツ ミュンヘン）
辻 芳彦 君
日笠 克巳 君（IAA 代表として出席）
- ニ. 平成 21 年 9 月 8 日～11 日 AFIR 大会（於：ドイツ ミュンヘン）
清水 信広 君
日笠 克巳 君（IAA 代表として出席）
- ホ. 平成 21 年 9 月 16 日～18 日 中国アクチュアリー会年次大会（於：中国 昆明）
村田 富生 君
日笠 克巳 君（IAA 代表として出席）
- ヘ. 平成 21 年 10 月 12 日～15 日 第 15 回 EAAC 会議（於：韓国 ソウル）
五十嵐 勉 君、多島 和夫 君、田中 周二 君、土井 和行 君、辻 芳彦 君
日笠 克巳 君（IAA 代表として出席）
- ト. 平成 21 年 10 月 25 日～28 日 SOA 年次大会（於：アメリカ ボストン）
大塚 忠義 君、中込 信之 君
- チ. 平成 21 年 11 月 12 日～15 日 IAA 会議（於：インド ハイデラバード）
五十嵐 勉 君、吉田 英幸 君、坂本 純一 君、河野 年洋 君、中村 吉男 君、
吉村 雅明 君、村田 富生 君、高橋 佳宏 君、辻 芳彦 君
日笠 克巳 君（IAA 代表として出席）

- リ. 平成 21 年 11 月 15 日～18 日 CAS 年次大会 (於：アメリカ ボストン)
土井 和行 君
- ヌ. 平成 22 年 2 月 2 日～4 日 IAIS ソルベンシー&アクチュアリアル・ 이슈小委員会
(於：インド ハイデラバード)
河野 年洋 君 (IAA 代表として出席)
- ル. 平成 22 年 2 月 23 日～25 日 IAIS 年 3 回会議 (於：スイス バーゼル)
河野 年洋 君 (IAA 代表として出席)
- ヲ. 平成 22 年 3 月 3 日～7 日 IAA 会議 (於：南アフリカ ケープタウン)
日笠 克巳 君、五十嵐 勉 君、吉田 英幸 君、坂本 純一 君、河野 年洋 君、
穴田 祐史 君、中村 吉男 君、田口 茂 君、吉村 雅明 君、村田 富生 君、
高橋 佳宏 君、橋本 英司 君、辻 芳彦 君
- ワ. 平成 22 年 3 月 7 日～10 日 ASTIN 大会 (於：南アフリカ ケープタウン)
森本 祐司 君
- カ. 平成 22 年 3 月 7 日～12 日 ICA 会議 (於：南アフリカ ケープタウン)
日笠 克巳 君、五十嵐 勉 君、辻 芳彦 君
- ヨ. 平成 22 年 3 月 9 日～12 日 AFIR 大会 (於：南アフリカ ケープタウン)
杉田 健 君

(5) Webinar への参画

- イ. 平成 21 年 6 月 16 日に行われた MCEV に関する Webinar (Web によるセミナー) の開催に SOA 等とともに参画した。
- ロ. 平成 21 年 12 月 1 日～2 日に行われた ERM に関する Webinar の開催に SOA 等とともに参画した。

〔評議員会〕

(1) 平成 21 年度評議員会の開催

平成 22 年 3 月 16 日、経団連会館にて開催した。平成 21 年度の事業概況および平成 22 年度の事業計画について審議した。

〔産学共同〕

- (1) 京都大学より保険数学の講師派遣の依頼があり、大内 修 君 (住友生命)、大嶋 孝造 君 (住友生命)、鈴木 剛 君 (住友生命)、中山 素生 君 (日本生命)、松村 隆巳 君 (大同生命)、南 嘉博 君 (日本生命) を派遣した。
- (2) 大阪大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、青井 知幸 君 (日本生命)、大内 修 君 (住友生命)、松村 隆巳 君 (大同生命) を派遣した。
- (3) 神戸大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、大内 修 君 (住友生命) を派遣した。

- (4) 東京大学より社会数理特別講義の講師派遣の依頼があり、辻 芳彦 君（大同生命）を派遣した。
- (5) 平成 21 年 7 月 4 日に慶應義塾大学において財団法人 アジア保険振興センター主催による「第 1 回 OLIS-慶應義塾大学 保険フォーラム」が開催され、辻 芳彦 君（大同生命）が講演を行った。
- (6) 平成 21 年 7 月 21 日～24 日に日本大学において日笠 克巳 君（三井生命）がアクチュアリーに関する講演を行った。
- (7) 平成 22 年 1 月 5 日～7 日に京都大学において開催された ERM セミナーに Paul Sweeting 氏（ケント大学）を招聘した。
- (8) 平成 23 年 7 月開催予定の APRIA 年次大会の組織委員会に五十嵐 勉 君（大同生命）および辻 芳彦 君（大同生命）が委員として参画している。

〔公益法人制度改革への対応〕

- (1) 平成 22 年 1 月、会員に対して公益社団法人への移行およびそれに伴う定款改定案について意見募集を行った。

〔表彰関係〕

- (1) 平成 20 年度資格試験成績優秀者の表彰

イ. 理事長特別賞・理事長賞の授与

平成 21 年 5 月 22 日に、山本 貴史 君（明治安田生命）、日浦 優吾 君（東京海上日動）に理事長賞を授与した。理事長特別賞は該当がなかった。

ロ. 科目別成績優秀賞の授与

同日、次の 6 名を表彰した。

石崎 俊 君	（個 人）	数学
川村 峻介 君	（明治安田生命）	数学
大谷 真吾 君	（みずほ信託）	生保数理
棚谷 和行 君	（りそな信託）	損保数理
西尾 祐一 君	（りそな信託）	年金数理
小柳 意真 君	（みずほ信託）	会計・経済・投資理論

(2) 優秀論文の表彰

平成 21 年 11 月 5 日、年次大会において次のとおり表彰した。

イ. 優秀論文の表彰 4 編

「多数要因による寿命リスクとカタストロフィー・リスクを考慮した死亡率の確率モデルとその応用」 井川 孝之 君 (みずほ総合研究所)

「貯蓄性商品の価格評価に関する考察～円建て EIA (Equity-Indexed Annuities) の価格評価」 上田 琢磨 君 (日本生命)

「Embedded Value 計算の理論的側面からの整理」 勝野 健太郎 君 (住友生命)

「コーホート効果を考慮に入れた死亡率予測のモデル」 法元 隆 君 (個人)

ロ. IT 関係優秀論文の表彰 2 編

「IT サポートによる『顧客本位』のサービスの研究」 IT 研究会第 4 グループ

「企業年金数理システムについての提言」 IT 研究会第 3 グループ

〔広報・出版活動〕

(1) 広報活動

イ. 学生向け冊子「アクチュアリー―その活躍の紹介―」の配布

ロ. 「アクチュアリーセミナー」の実施

主に学生を対象としたセミナーを、平成 21 年 11 月 28 日に東京（日本アクチュアリー会大会議室）で、12 月 12 日に大阪（住友生命 釣鐘倶楽部）で開催した。各々の参加者は 66 名および 26 名であった。

(2) 会報等の刊行

次のとおり会報をはじめ各種の刊行物を発行した。

イ. 会 報 第 62 号

ロ. 会報別冊 第 239 号 平成 20 年度資格試験問題集
第 240 号 「保険契約の技術的準備金等の経済価値ベース評価における日本での実務面に関する調査・研究（中間報告）」
第 241 号 「IAA リスク・マージン・ワーキング・グループ報告書『保険契約に係る負債の測定：現在推計とリスク・マージン』」
第 242 号 「第 49 回 IT 研究大会報告」
第 243 号 「損害保険会社における目標資本の評価」
第 244 号 「2008 年度 ERM に関する Webinar」

ハ. アクチュアリージャーナル 第 69 号～第 71 号

ニ. アクチュアリージャーナル 特別号「リスクと保険」

〔図書関係〕

(1) 図書の充実

引き続き、図書室の図書の充実を図った。平成 21 年度中の図書の増加状況は次のとおり。

洋書 10 冊 和書 42 冊 計 52 冊

〔関西支部〕

(1) 支部総会

平成 21 年 5 月 20 日、日本生命 本店にて支部総会を開催し、

第 1 号 平成 20 年度事業概況に関する件

第 2 号 平成 20 年度決算および平成 21 年度予算（案）承認の件

第 3 号 平成 21 年度事業計画（案）承認の件

を諮り、原案どおり承認された。

(2) 関西支部例会の開催 委員長 浅野 淳 君（住友生命）

平成 21 年 10 月 26 日（於：アプローズタワー）

「金融危機と証券市場」 川北 英隆 氏（京都大学）

平成 22 年 1 月 12 日（於：アプローズタワー）

「企業年金の法政策的課題——「企業年金評価研究会」での議論や受給者減額裁判例の動向
なども踏まえて——」 森戸 英幸 氏（上智大学）

平成 22 年 2 月 19 日（於：A P 大阪）

「IAA 会長としての 1 年を振り返って」 日笠 克巳 君（三井生命）

平成 22 年 3 月 11 日（於：アプローズタワー）

「平成 21 年度関西支部分科会活動報告」

(3) 関西支部研究会活動

次の 5 分科会において研究調査活動を行った。

保険計理分科会 委員長 三谷 龍介 君（日本生命）

海外年金研究会 委員長 山内 宗幸 君（日本生命）

年金分科会 委員長 岩本 陽巧 君（りそな銀行）

システム分科会 委員長 安達 秀樹 君（ニッセイ情報テクノロジー）

アクチュアリーセミナー 委員長 浅野 淳 君（住友生命）

また、関西支部の会員がより専門分野の知識を身につけることを目的としたセミナー（関西セミナー）を 2 回開催した。

平成 21 年 10 月 9 日（於：住友生命本社会議室）

「確率論的保険数学について講師が現在作成中のテキストについての研究」

京都大学保険ゼミ 修士学生

平成 21 年 12 月 11 日（於：住友生命本社会議室）

「保険数学のための確率論」

谷田 篤司 君（個人）

(4) 関西支部アクチュアリー講座の実施

関西支部においてアクチュアリー講座を実施した。受講者数および講師は次のとおりであった。

	受講者数	講 師
生保数理（8～10 月）	8 名	松村 隆巳 君（大同生命）
年金数理（8～10 月）	10 名	山田 彩乃 君（りそな銀行）
損保数理（8～10 月）	13 名	宮武 宏典 君（日本生命）